

鶴丸眼科に通院中または過去に通院された患者さま、またはご家族の方へ当院における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2024年 6月 1日

「鶴丸眼科で行っている中間型アウトリーチ支援」に関する研究を実施しています。

くまもと県北病院倫理委員会の審査による承認を得て、上記研究を実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	202407
課題名	鶴丸眼科で行っている中間型アウトリーチ支援
所属（診療科等）	鶴丸眼科
研究責任者	谷吉オリエ
研究実施期間	2024年6月～2026年5月
研究の意義・目的	当院では、視覚障害により生活上困難を感じる方が、視覚リハビリテーションに関する情報を容易に取得していただくために、普段の眼科受診時に専門的な相談、情報を提供できるロービジョン外来を定期的に開催しています。このような支援(中間型アウトリーチ)は必要性を感じられながらも、人員、時間、設備等の問題によりどこの眼科でも受けられるという状況ではありません。そこで、開院以来、5年に渡る当院のロービジョン外来の利用状況から、患者さんの特徴、ニーズおよび希望された支援内容などについて分析し、視覚に障害を負った方が十分な情報を得て、本人が望む時期に視覚リハビリテーションを行えるような環境整備につなげたいと考えています。
対象となる方	2018年9月～2025年3月に鶴丸眼科でロービジョン外来を受診した方
利用する診療記録・検体	年齢、性別、視力、視野、疾患名、希望した視覚補助具、障害手帳の有無
研究方法	後ろ向き観察研究
問合せ先	鶴丸眼科 視能訓練士 谷吉オリエ 0942-52-0002

- 診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。
- 当院外へお名前や個人情報がでることはありません。
- 必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
- この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了承いただけない場合、またご不明な点については上記問合せ先までご連絡くださいますようお願いいたします。
- 研究不参加を申し出られた場合でも、何ら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいていた時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や試料や情報が匿名化されて個人情報が全く特定できない場合などには結果を廃棄できないことがあり、引き続き使用させていただくことがあります。